

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	各務原市福祉の里児童発達支援センター		
○保護者評価実施期間	令和6年9月27日	～	令和6年10月11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 24人	(回答者数)	15人
○従業者評価実施期間	令和6年9月27日	～	令和6年10月11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 13人	(回答者数)	9人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもたちに合わせた環境作りを行っている。	・子どもがわかりやすく生活できるように構造化を行っている。具体的には写真や絵カードなどを使用して活動の流れを伝えたり、タイムタイマーなどで時間などわかりにくい事柄を視覚的にわかりやすく伝えている。また、子どもの特性や状況によって場所や対応を変え、個別での対応を保障している。	・個別支援計画に反映できるような支援方法をその都度見直しながら個に合わせた関わり等を検討し実践していきたい。
2	・子どもの発達に合わせた遊び・保護者の方も一緒に楽しめる様々な遊びを提供している。	・感覚遊び、運動遊び、ふれあい遊び、リズム遊び、見立て遊び、簡単なルールのある遊び、ごっこ遊び、クッキング等、クラスごとに遊びを提供しているが、感覚が苦手なお子さんに対しては道具を工夫したり、初めての遊びにすぐに入れないお子さんには、まず見ることから始めるなど個々に応じて対応しながら、少しずつ興味の幅を広げていくようにしている。	・年中・長は単独通園を基本としているが、保護者の方に来ていただいて一緒に遊びを楽しむ中で、改めてお子さんの成長を感じていただいたり、職員との話の中でお子さんの様子を見ながら関わり方を確認していただく機会を今後も継続していきたい。
3	・市内の保育所と連携を取りながら交流する機会がある。	・福祉の里のお子さんたちが、市内の保育所に出向いて行ったり、福祉の里に来ていただいたりして、子ども同士が触れ合って一緒に遊ぶ機会を年に4回ほど交流保育として行っている。また、お子さんが保護者の方と一緒に参加する個別交流も行っている。実際に就園する際には、就園1か月までに月5回個別交流を実施してスムーズな就園へと導いている。	・交流保育の回数は現在の所、以前より少なくなっているがとて有意義な交流となっている。今後もこうした交流を行っていきけるとよい。個別交流については、その子その子に応じて行っているが、保護者のニーズをきちんと把握した上で、更に連携を深めていけるとよい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・施設内・外において、補修や修理の必要な所が多い。	・施設内で老朽化が進んでいる所は修繕や修理を行ってきている。今年度はトイレの床や蛇口の修理などを行っている。	・月ごとに安全点検を行っており、修理等が必要な場合は早急に対策を考え事故につながらないようにしている。加えて施設外の職員による職場巡視チェックをもとに環境整備を行っている。さらなる補修個所の改善に努めていく。
2	・個別対応が必要な時に十分な職員体制が整いにくい。	・職員の休暇の保障をしながら、働きやすい職場作りを目指して労働環境を整えている。しかし、職員の体調不良、保育中の事故や怪我、要支援家庭への対応など様々なことでクラス担当のみで対応できない場面が多々ある。その為、本来他の業務を担う職員等が保育現場に入っていることが多い。	・お子さんに対しての職員の数を増やしていくことが必要である。個別に対応する必要がある場面において事故を未然に防ぐ意図も含めて今後は現在より手厚い人員配置が望ましい。
3	・PDCAサイクルに参画する時間がとりにくい。	・お子さんたちが帰った後に部屋の掃除、バスに乗る職員、行事の準備、各委員会の会議など、日々療育以外の業務が多くあり、関係職員同士が集まって毎日行うことが難しいことがあり、振り返りを行えないことがある。以前はできなかった分を水曜日午後に行っていたが、現在は月1回の午前療育で、それ以外は水曜午後療育を行っていることで更に時間が取れなくなってきている。	・子どもが帰った後に各クラスごとに振り返りを行っている。掃除の後、行う時間と位置づけるなど、ルーティン化することも考えられる。また、会議の議題を整理して週1回行っていた職員会の議題を分散して計画的に行っていくなどの工夫が必要である。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援センター 1Fフロア		9/13人 回収率69%		公表日 令和7年3月13日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	6	・運動遊びの際はアリーナや遊戯室など活動に合わせて部屋の調整を行っている。部屋の利用も他施設や訓練利用の時間を事前に調整している。	・人数が多いクラスだと狭く感じる時がある。 ・遊具などを保管する場所が少ない。 ・特に家族療育のクラスが狭い。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	8	・お子さんの出席数や職員の出勤状況に合わせて日々調整を行っている。	・個別対応が必要な子どもにつく職員が数名必要である。 ・移動や活動によって安全を確保する為に必要な時がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	3	・視覚的な見通しが持てるように構造化を行っています。お子さんの特性に合わせて個別に絵カードを提示したりわかりやすく伝えるような声かけなどを行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	6	・お子さんたちが帰った後は、毎日各部屋の掃除を行っている。玩具についても消毒を行う等感染予防や清潔を保ように心掛けている。	・老朽化が目立つ ・設備が古くなっている。 ・トイレが臭う。園庭の遊具の床がめくれている。柵が機能していない。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	2	・お子さんの様子や状況に応じて個別対応ができるように部屋や場所を使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	3	・日々の振り返りはお子さんたちが帰った後にクラスごとに行っている。全体では、毎日夕礼を行い、職員間で課題を共有して業務改善に努めている。	・皆で共有する時間がとりにくい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2	・職員各々が業務に対して改善する意識を高めていけるように、話し合いや考えを出してもらう機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・研修会や市内の幼稚園・保育所へ出向していく機会を持つことで職員の資質向上を図っている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1	・現在作成中であり、今年度中に公表をする予定をしている。	・作成中である。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	・お子さんのアセスメントを適切に行いながら保護者の方のニーズを把握した上で個別支援計画を作成することに努めている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1	・児童発達支援管理責任者のみではなく、支援に関わる職員間でよく話し合いながらお子さんにとって最善の検討をして児童発達支援計画を作成するようにしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	・お子さんの発達の状況を確認できるようなフォーマルなアセスメント表、日々の記録、月の記録などを使用してお子さんの状況を確認している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1	・児童発達支援ガイドラインに則って必要な項目を設定しており、具体的な支援内容も記載している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援センター 1Fフロア		9/13人 回収率69%		公表日 令和7年3月13日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・月ごとに活動プログラムを計画し、お子さんが楽しみながら発達を促されるような工夫をしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	1	・お子さんの状況や活動内容によって個別で対応したり、クラスを越えての交流も行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・支援開始前には全職員間でその日の支援の確認を行い、役割等の確認も行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	8	1	・支援終了後には、各クラス、クラスに入った職員間で振り返りを行い、気づいた点等を共有することでよりよい支援になるように務めている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	・毎日個別・クラスの記録をとって支援の検証や改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	1	・モニタリングは定期的に行っており、見直しの必要な場合は変更をしている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	・就学先の小学校や特別支援学校等の先生に実際に療育の様子を見に来ていただいたり、紙面やオンライン会議などを活用して情報の共有に努めている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)			・お子さんが利用している事業所と必要に応じて連携を行っている。	・外部の事業所のことをもっと知りたい。
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	5	4		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	7	2	・ケースによっては必要に応じて専門的な助言をいただくために講師の方をお呼びして研修を行っている。また、外部の研修にも参加している。外部専門家による発達相談会を年8回実施している。	
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	8	1	・市の子ども部会、地域子ども・子育て会議等への参加は積極的に参加している。	
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	0	・年間を通して市内の保育所や認定こども園と交流を持ち、子ども同士が触れ合って遊ぶ機会を設けている。 また、個別にも保育所や認定こども園等に行き交流を行う機会を持っている。		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	9/13人 回収率 69%		公表日 令和7年3月13日			
事業所名	児童発達支援センター 1Fフロア					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	1	・保護者の方同士が交流できるような会を毎月実施し、運営のサポートをしている。職員による保護者の方に向けての勉強会なども年に数回実施している。	・きょうだい同士の交流はできていない。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	1	・事業団主催の“まつり”を開催している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	・事故防止マニュアル、感染対応マニュアル等職員や家族に向けて必要な時期に必要な内容をお伝えしている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1	・火災想定訓練が中心である。	・地震想定訓練ができていない。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		・安全管理に必要な研修や訓練は今後定期的に行っていく必要がある。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1	・毎月法人内で虐待防止マネージャー会議が開かれ、施設から出る虐待ヒヤリハットの検証が行われている。	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援センター 1Fフロア	9/13人 回収率69%		公表日 令和7年3月13日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	1		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援センター 1F
------	---------------

公表日 令和7年3月13日

利用児童数 令和6年10月1日 24人

回収数 15/24

回収率63%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	4	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ●遊戯室では、走りまわることが多いので、他に友達がいると危ないこともあり、少し狭く感じます。 ●活動内容によってスペースが狭いと思います。 ●外の遊具がもう少しあってもよいのかも..と思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊戯室では、お子さんたちは、大型遊具で遊んだり、走ったりして体をたくさきり、少し狭く遊んでいます。日ごろは、お子さん同士の衝突がないように適切な人数で使用したり、職員の見守りの中危険がないようにしており、今後も取り組んでいきたいと思っています。 ・戸外の遊具については、今後検討していきたいと思っています。また、戸外遊びの遊び方の工夫を考えていきたいと思っています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	3	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ●誰かが休んだりすると大変そう..に見える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご心配いただきましてありがとうございます。お子さん達に影響がない様に職員の調整を行っています。人員数の見直しも行っており、市をお願いをしている所です。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1	1	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	4	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ●活動と昼寝をする部屋は別々にしてほが衛生的にもよいかと思われませんが、実質的にはご用意できる部屋が現在の所しなくなく申し訳ございません。現在、お昼寝の前には、部屋を掃除し綺麗にして使用しています。何とぞご理解いただきませう様よろしくお願いたします。 ・トイレについては今年度補修工事を行いました。床は抗菌作用の床を使用しており、トイレのドアの設置なども加え明るく綺麗な空間となりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本来、活動とお昼寝の部屋が別々の方が衛生的にもよいかと思われませんが、実質的にはご用意できる部屋が現在の所しなくなく申し訳ございません。現在、お昼寝の前には、部屋を掃除し綺麗にして使用しています。何とぞご理解いただきませう様よろしくお願いたします。 ・トイレについては今年度補修工事を行いました。床は抗菌作用の床を使用しており、トイレのドアの設置なども加え明るく綺麗な空間となりました。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	2	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	2	0	1		支援プログラムについては、今後公表する予定となっております。内容をご理解していただき今後の支援の充実につなげていきたいと思っています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	1	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	2	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	0	0	2		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	1	1	3	あるけど少ないと思います。	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、回数は限られておりますが、市内の保育所から福祉の里に来てもらったり、こちらから保育所に行ったりして交流を行っています。それ以外に、個別の交流もできますので、ご希望があれば職員にお伝えいただけるとよいと思います。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	0	0			
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	1	0	0			
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	1	0	0			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センター 1F

公表日 令和7年3月13日

利用児童数 令和6年10月1日 24人

回収数 15/24

回収率63%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者 への 説明 等	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	15	0	0	0	・連絡帳での丁寧な報告、担任の先生は勿論、他の先生が他からもお会いした時は、様子を詳しく教えて下さり、分離の状況が本当によくわかり安心。感謝しています。	・ありがたいお言葉ありがとうございます。今後もお子さんの様子を細やかに伝えてきたらと思っています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	0	0	0	・困った時などその都度お話をさせていただいており、又、話しやすい状況を作ってくださいに頼りにしています。	・保護者の方との時間が十分に取れない中、お話をさせていただきありがとうございます。保護者の方からの情報をいただくことで、私達もお子さんたちの理解を深めさせていただくことができ感謝しております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	0	0	4		・きょうだいのお子さんに対しての交流の機会は特に行ってはいませんが、センター内での行事などに参加していただき、センター利用のきょうだいの様子を見ていただいたり、一緒に楽しんでもらったりする機会を設けています。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	2	0	0		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1	0	0		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	1	0	1		
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	0		
非常時 等の 対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	0	0	1		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	0	0	0		
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	0	0	0		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	0	0	0		
満足 度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	15	0	0	0		
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	13	2	0	0	・毎日通うことを楽しみに生きています。 ・子どもは一番楽しみにしていると思います。 ・親の私も楽しみにしています。	・今年度は、単独通園のクラスにおいて、お子さんと一緒に参加していただけの機会を持ちました。日ごろのお子さんの様子や成長ぶりを直に感じていただくよい機会となりました。
	29 事業所の支援に満足していますか。	14	1	0	0	・様々な活動を取り入れて下さり、本当に満足しています。	・お子さんたちの笑顔を見られることが私たち職員の喜びであり、お子さんたちの成長につながっていると思い、日々療育を行っています。今後も楽しい活動を考えていきたいと思っています。